年次継続監視評価表（令和6年度）

1 基礎情報

対 象 施 設	中央図書館
施設の設置目的	図書館法（昭和25年法律第118号）の規定により、社会教育法の精神に基づき、図書館の設置、運営に関して、その健全な発達を図り、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。
施設所管部署	社会教育部社会教育課
指 定 管 理 者	株式会社図書館流通センター
指 定 期 間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
指定管理業務内容	(1) 図書館の利用に関すること (2) 図書館の施設（設備及び物品を含む。）の維持管理に関すること (3) その他目的を達成するために必要な業務に関すること

2 施設利用状況の推移

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
人数（件数）	148,446人	203,659人	226,136人	223,755人	234,178人	207,235人
対前年度比	▲154,462人	55,213人	22,477人	▲2,381人	10,423人	▲13,746人

3 施設利用者の満足度（利用者アンケート結果）

区 分	回答者数	満足度				
		施設・設備管理	接客対応	教室・イベント等	その他	全体
上半期	578人	92.4%	99.7%	87.6%	93.3%	98.2%
下半期	558人	92.9%	99.3%	87.6%	94.1%	97.9%
利用者の主な意見・要望等	・トイレの改修や蔵書の充実に関する要望が多い。 ・デジタルサービスへの期待など、全体的な満足度が高い。					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内 容	参加者数等
出張えほん読み聞かせ	市役所かすかべっ子ルームでの絵本の読み聞かせや手遊び	こども15人 大人7人
あかちゃんえほんの会	第2・4木曜日　乳幼児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせや、わらべ歌などを実演	23回　こども48人 大人51人
親子で図書館満喫ツアー	図書館見学、簡単な読み聞かせ講座や本の紹介など	こども11人 大人9人

5 主な修繕実績

修繕箇所・修繕名等	内 容	金 額
職員用玄関ドアガラス交換	職員用玄関ドアの一部ガラス破損による交換作業	21,000円
男子トイレ扉蝶番交換	1階利用者用男子トイレの扉蝶番交換	72,875円

6 収支状況

（単位：円）

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
収入額 A	172,167,820	173,621,230	179,108,453	177,792,530	180,465,610	883,155,643
内、指定管理料 a	172,110,000	173,530,000	179,016,835	177,700,000	180,400,000	882,756,835
内、利用料金収入	57,820	91,230	91,618	92,530	65,610	398,808
支出額 B	172,572,589	178,106,679	181,825,325	178,774,209	184,776,094	896,054,896
内、人件費	93,452,633	97,969,531	98,503,235	99,138,650	101,431,956	490,496,005
収支額 A-B	▲ 404,769	▲ 4,485,449	▲ 2,716,872	▲ 981,679	▲ 4,310,484	▲ 12,899,253
対前年度比	－	▲ 4,080,680	1,768,577	1,735,193	▲ 3,328,805	▲ 3,905,715
想定事業費 C	190,585,956	207,009,948	215,946,890	214,807,959	223,541,738	1,051,892,491
削減額 C-a	18,475,956	33,479,948	36,930,055	37,107,959	43,141,738	169,135,656
特記事項（増減額の説明等）	電気・ガス使用料金の増額や人件費単価の引き上げ等により、支出額が増加した。					

※「想定事業費」：市が直営で管理した場合に想定される事業費

7　四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項（不適となった事項の有無、指導事項、改善状況　等）
第1四半期	A	不適事項なし
第2四半期	A	書類の管理が不十分だったため、作業手順の見直し等を指導し、改善された。
第3四半期	A	不適事項なし
第4四半期	A	貸出に関する運用変更が適切に行われていなかったため、改善等を指導した。

※評価結果の凡例
Ａ：適切な指定管理業務が実施されている。
Ｂ：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。
Ｃ：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8　年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		受付等業務従事者の接客態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適（○）の数		20 ／20	

9　総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について
幅広い世代に向けた事業の実施など、住民サービスのさらなる向上に努めており、利用者アンケート調査での接客対応の評価も非常に高いものがあります。また、施設や設備に不具合が発生した際は、速やかな対応がなされています。経費の増については、必要不可欠な光熱水費や人件費によるものであり、可能な限り経費の節減に努めたと評価します。
指導に対する対応・改善状況について
四半期継続監視での指摘事項は、指導の結果改善されました。
その他（上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等）
電子書籍の利用については、登録者数・貸出点数ともに継続的に増加しており、デジタルサービス全般についても、認知度が向上しています。引き続き効果的な広報および魅力的な事業の実施をしていただき、利用者の増加に努めてください。

令和6年度の評価結果	A